

47都道府県プロフィール
2024年1月～2024年06月

山形県

庄内地方に住む外国人と交流 鶴岡市で「のど自慢大会」

2024/06/09

歌を通じて地域に暮らす外国人と交流を深めようと国際色豊かな「のど自慢大会」が8日、山形県鶴岡市で開かれました。この催しは、鶴岡市の国際交流施設、出羽庄内国際村で初めて開かれ、庄内地方に住んでいる技能実習生や留学生など5か国の外国人と、日本人の合わせて26人が出場しました。このうち、日本人と結婚して酒田市に住んでいる韓国人の女性は表情豊かに日本の演歌を歌い会場から大きな拍手が送られていました。



<https://www3.nhk.or.jp/lnews/yamagata/20240609/6020020734.html>

技能実習廃止、「育成就労」に 改正入管法成立、 27年にも施行

2024/06/14

技能実習に代わる外国人材受け入れの新制度

「育成就労」の創設を盛り込んだ改正入管難民法などが14日、参院本会議で成立した。

途上国に技術を伝える「国際貢献」を掲げながら、安価な労働力の確保手段とされてきた

技能実習は廃止。国内の人手不足を背景に、

人材の確保を目的に明記した。外国人受け入れ政策の大きな転換点となる。



国会議事堂

https://www2.yamagata-np.jp/news_core/index_pr.php?kate=Main&no=2024061301001220

JR東日本、技能実習生の採用拡大 東南アジアから10人

2024/06/27

鉄道車両の整備職種で外国人の技能実習生を増やすと発表した。インドネシアとベトナムから計10人を採用し、車輪まわりの検査やモーターの整備などを任せる。4月にもタイから6人を受け入れた。旧国鉄時代に大量採用された社員が定年退職を迎えるなか、海外人材を増やして人手不足に備える。



鉄道車両の整備職種で外国人の技能実習生を増やす

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1149779/>

長崎から派遣 外国人2人が寒河江市でさくらんぼの箱詰め作業

2024/06/17

くらんぼの収穫が最盛期を迎える中、収穫や選別などの作業にあたる人材として、長崎から2人の外国人が派遣され、寒河江市でさくらんぼの箱詰め作業を手伝っています。この取り組みはさくらんぼやすいかなど農業の人手不足を解消しようと県がことしから始めたもので、外国人の住まいは受け入れる農家などが準備し、生活に必要な家電の費用などは県が一部を負担します。



<https://www3.nhk.or.jp/lnews/yamagata/20240617/6020020805.html>

「リレー派遣」で人手確保

農業の担い手不足解消に向け、外国人材を活用した

「リレー派遣」が注目されている。地域や農作物の種類ごとに繁忙期が異なるのを利用し、数カ月ごとに全国各地を移動しながら、収穫作業などを手伝う仕組み。農家は繁忙期の人手確保が期待できるほか、年間を通じて仕事が発生するため、外国人にとっても技能習得や通年就業につながるメリットがある。サクランボ生産量全国1位の山形県は、例年6月に迎える収穫最盛期の人手不足に悩まされてきた。農閑期があるため通年雇用はなじまず、1日単位のバイト募集などで対応しながら、新たな対策を探っていた。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a8e6bab197195d78277063f877989e557c7aaa>

農繁期、外国人が全国移動

2024/05/02



リレー派遣で想定する派遣先と農繁期の作物

ベトナム技能実習生が鶴岡市で日本語や一般常識など学ぶ 講習後は受け入れ先企業で本格的に働く

外国人技能実習生が県内の受け入れ先企業で本格的に働く前に、日本語や一般常識などを学ぶ入国後講習の開校式が23日鶴岡市で行われました。鶴岡市にある出羽商工会本所で行われたのは、外国人技能実習生の入国後講習の開校式です。出羽商工会は、2018年度からこれまでに国の許可を得て合わせて40人の外国人技能実習生と庄内地域の受け入れ企業を仲介してきました。開校式にはベトナムから22日に来日したばかりの実習生7人が出席し、ひとりひとり自己紹介をしていきました。実習生たちは、24日から1か月間、日本語や一般常識を学ぶ入国後講習を受けます。少子高齢化と人材不足が進むなか、企業にとって実習生は貴重な労働力となっています。

2024/01/24



<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1149779/>

運動会で国際交流にぎやかに 鶴岡市の田川地区 11カ国50人の外国人チーム楽しく参戦 “日本流”満喫 賞品に大喜び

2024/06/01

鶴岡市田川地区の「第69回大運動会」が26日、田川地区コミュニティセンター（旧田川小学校）グラウンドで開かれ、集落単位のチームに交じって今年も「国際村」チームの外国人50人が参加した。ユニークな競技がある日本流の運動会を楽しんだほか、運動会後の集落ごとの「反省会」にも参加し、地域の国際交流の輪を広げた。



<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1149779/>